

事業計画書概要

令和6年度補正グローバルサウス未来志向型共創等事業（ウクライナ復興支援・中東欧諸国等連携強化）

事業名	ウクライナ・ポーランド共和国/ウクライナ公営住宅向けプレハブ住宅の生産・建築・提供FS実証事業		
企業名	大和ハウス工業株式会社	企業規模	中小企業（中小企業以外）
事業形態	FS実証事業 / 実証事業		
事業分野	①情報通信 / ②エネルギー / ③交通 / ④都市基盤 / ⑤医療 / ⑥介護ヘルスケア / ⑦農業・食品 / ⑧廃棄物処理 / ⑨デジタル・プラットフォーム / ⑩その他		
事業規模	事業費総額：9,298百万円 / 補助対象経費総額：9,298百万円 / 補助金申請額：4,000百万円		
事業概要	<p>【商業化時のビジネスモデル】</p> <p>【目的】</p> <ul style="list-style-type: none"> ウクライナの政府・地方自治体が国内外避難民のために緊急に必要とする質の高い公営住宅として、当社技術によるプレハブ式集合住宅を納入・供給し、住宅分野の復興に貢献する。 国土交通省設立の官民協議会を始め、日本政府主導のウクライナ復興支援に貢献する。 当社プレハブ住宅の品質や価格に対するウクライナでの評価データを中東欧市場における競争力の指標として把握し、今後の本格展開で活用する。 ポーランドの仮設生産施設における企画・設計・生産、ウクライナへの輸送、現地での組み立て、建築などの一連の業務がFS時の想定通り円滑に進むかを検証し、抽出された課題を今後の中東欧市場への本格展開に活用する。 <p>【実施内容・方法】</p> <ul style="list-style-type: none"> ①当社プレハブ住宅の品質・価格に対するウクライナの地方政府及び入居者による評価のデータ収集及びそれらを踏まえた競争力に関する指標の把握 ②ウクライナへ輸送時間が短く、輸送コストも相対的に低廉な隣国ポーランドに仮設生産施設を設置し、プレハブ住宅の企画・設計・生産・輸送、更にパートナー自治体・工務店との連携による現地での組み立て・建築等の業務を実施する中で抽出される課題の把握 ③事業採算性の見通しの把握 <p>【主な技術・サービス】</p> <ul style="list-style-type: none"> 当社は、日本におけるプレハブ住宅のパイオニアとして、高精度なプレハブ生産技術を有しており、継続的な改善・改良により、特に製造システム・管理システムの面で業界独自かつ最先端の技術を開発・投入している。 <p>【スケジュール】</p> <ul style="list-style-type: none"> 交付決定日～3年間を想定 		
ウクライナ復興への貢献	<ul style="list-style-type: none"> 本FS実証事業の実施により、ロシアの侵攻による被害が住宅分野で特に著しいウクライナにおいて、国内避難民・海外避難民の受け入れ・呼び寄せのための公営住宅を緊急に必要としている同国政府及び地方自治体のニーズに直接的に対応しながら、ウクライナ国民に良質な住宅を実際に提供することにより、住宅分野での復興に貢献する。 		

ウクライナ復興への貢献